

事務事業名 登別市老人クラブ連合会補助金

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	1	長寿社会の基盤づくり
主要な施策	1	高齢者の生きがいづくりの場と機会の充実
事務事業番号	003	事業開始年度 昭和 54 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	高齢者の閉じこもりや孤立を防ぎ、健康で生きがいを持って生活できる様、健康づくり・介護予防活動 趣味の実践や地域との交流、防犯・交通安全推進等を行っている市内38クラブの単位老人クラブとの相互連携・親睦等で高齢者福祉の増進を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	老人クラブ連合会が行う事業を推進するため、補助金を交付支援する。 主な事業 ・市内各老人クラブとの相互連携・親睦 ・高齢者相互支援事業 ・社会奉仕活動の推進 ・交通安全、防災対策運動の推進 ・女性リーダー育成推進
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	高齢者の社会参加を促進し、高齢者相互の交流を図り地域社会に貢献するとともに、高齢者福祉の充実を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	老人福祉法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称 老人クラブ運営事業補助金	千円	206	206	206	206	206
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	794	794	794	794	794
事業費 合計			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	各種事業参加者人数（年度ベース）	人	目標値	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
			実績値	5,000	5,000			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
補助金の一部は北海道からの支出金で賄われているが、老人クラブ連合会加入会員数の減少から、補助金が年々減少している。	会員数確保のため老人クラブへの入会の勧誘や、周知活動を継続する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》
1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 高齢者人口の増加に伴い、自らの生きがい活動を行う機会の増加と地域老人の交流が必要となっている。また、活動の指導者養成が急務となっており、その中核となる老人クラブ連合会に市が補助する事は妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 老人クラブ連合会を支援することにより、高齢者の生きがいづくりと単位老人クラブの交流が促進され、高齢者相互の連携が図られるため必要性は高い。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 老人クラブ全体で会員の減少が見られるが、事業の見直しや会員の募集等により魅力ある活動を推進し、効率性を上げることが出来る。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 会員数が減少しているのが実情だが、補助金を交付することにより、趣味や、地域に根ざした交流活動等を行うことが出来たことは、成果があがったといえる。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	高齢化人口の増加に伴い、自ら生きがい活動を行う機会の増加と、地域老人との交流が必要となっている。また、活動の指導者養成が急務となっており、その中核となる老人クラブ連合会に対して支援する必要がある。

行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	会員数確保に向け、老人クラブと連携して勧誘や周知活動を進めること。